

大阪の交通の現状

道路の整備率

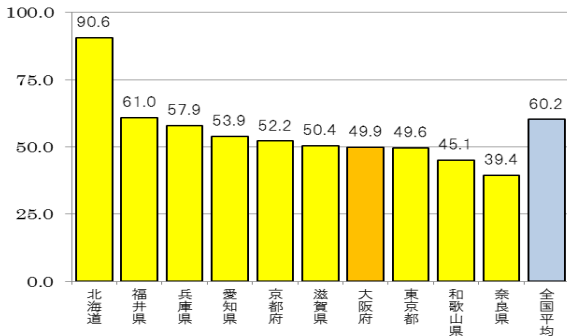
大阪府では、平成 22 年 4 月 1 日現在、直轄国道や、政令市管理分を含む府域の国・都道府県道の整備率は全国平均 60.2%に対し、49.9%となっており、全国で 39 番目となっています。

整備率＝整備済延長／道路実延長

整備済延長＝改良済延長のうち混雑度 1.0 以上の延長を除いた延長

※混雑度 1.0 以上の延長は、平成 17 年度全国道路交通センサスに基づく推計値

道路整備状況（平成 22 年 4 月 1 日現在）



道路統計年報 2011

大阪府管理道路について（平成 23 年 4 月 1 日現在）

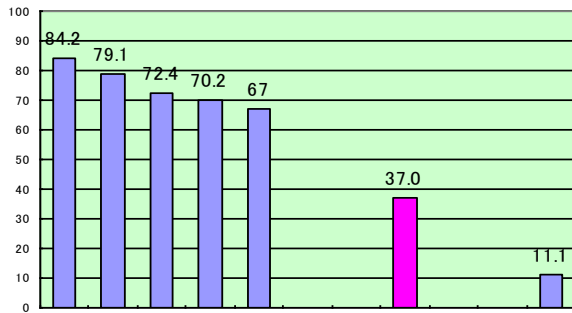
| 種別 | 路線数 | 実延長 (km) | 橋梁数 |
|------|-----|----------|-------|
| 一般国道 | 15 | 352.1 | 538 |
| 府道 | 183 | 1,205.9 | 1,595 |
| 主要府道 | 46 | 669.2 | 1,034 |
| 一般府道 | 137 | 536.7 | 561 |
| 計 | 198 | 1,531.0 | 2,133 |

平成 23 年度「道路現況調査」

バリアフリー化

安全かつ安心できる、人にやさしいみちづくりの実現のために必要な歩行者空間の整備状況は、全国平均の 44.3%に及ばず、全国で 35 番目となっています。

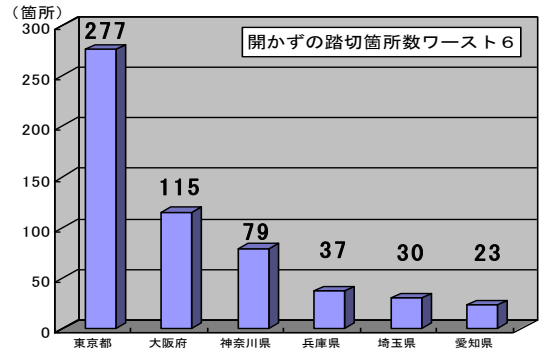
都道府県別バリアフリー化率



国土交通省道路行政の H18 達成度報告書/H19 業績計画書

開かずの踏切

全国で約 600 箇所あり、その 98%が東京、大阪、愛知等の三大都市圏に集中しており、大阪府は 2 番目に「開かずの踏切」が多い地域となっています。



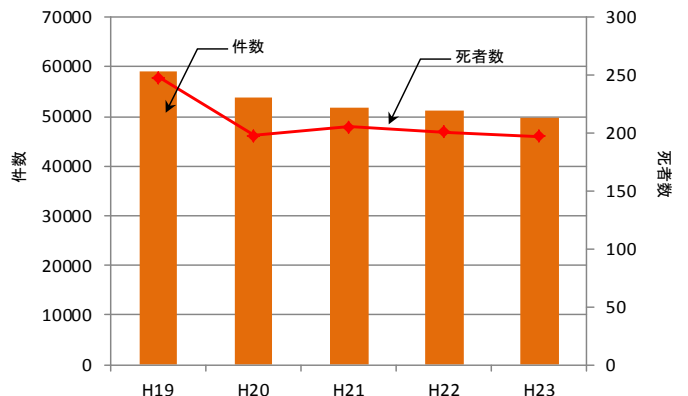
踏切交通実態総点検結果（平成 19 年 4 月公表）

府内の交通事故

大阪府下における平成 23 年中の交通事故は、件数 49,644 件、死者数 197 人、負傷者 59,489 人で、前年に比べると、件数、死者数及び負傷者数は減少しました。

また、平成 23 年の死者数については、昭和 23 年以降の統計史上、過去最少となりました。

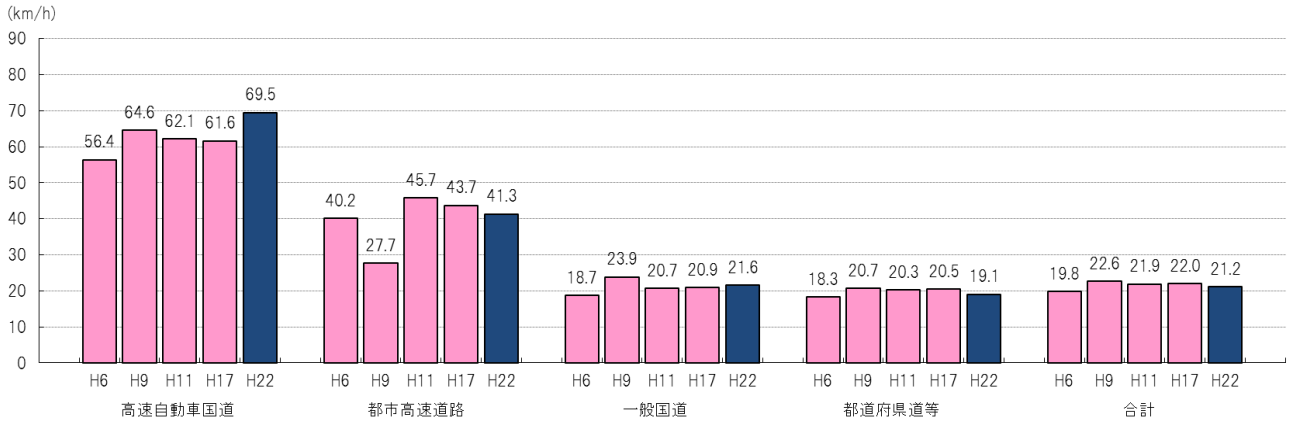
大阪の交通事故 経年推移



平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）

平成22年9月下旬から11月にかけて、国土交通省、都道府県、政令指定都市及び高速道路会社等の関係機関が連携し、今後の交通計画等を検討するための基礎資料を得ることを目的に、道路交通センサス（「車」に着目した調査）を実施しました。

◆混雑時旅行速度の推移



詳しくは、

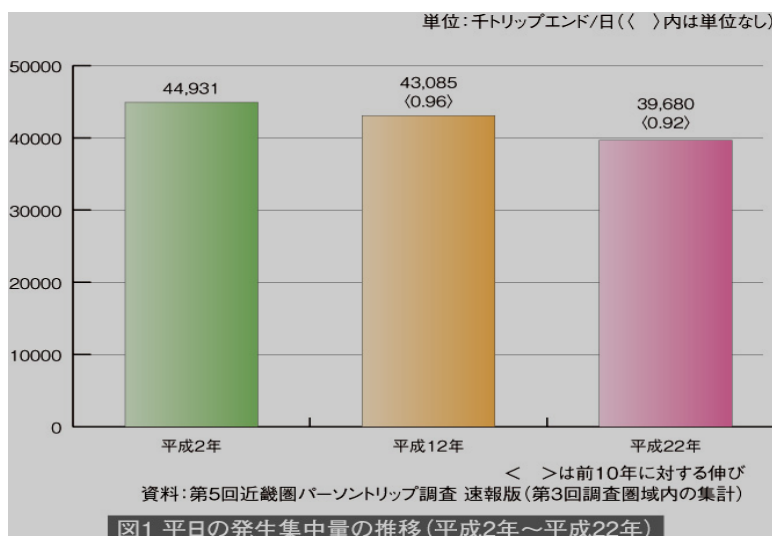
URL: <http://www.pref.osaka.jp/doroseibi/census/index.html>

平成22年度 近畿圏パーソントリップ調査（京阪神都市圏パーソントリップ調査）

近畿圏パーソントリップ調査は、昭和45年から10年に一度実施しており、国土交通省、近畿の府県・政令指定都市等の関係機関が連携し、人の移動の実態（日ごろの生活の中で、どのような交通手段・目的で移動しているかなど）を調査するものです。

平成22年度に実施した第5回近畿圏パーソントリップ調査の調査結果（速報版）は以下のウェブサイトでご覧いただけます。

◆調査結果の一例：平日の発生集中量の推移（平成2年～平成22年）

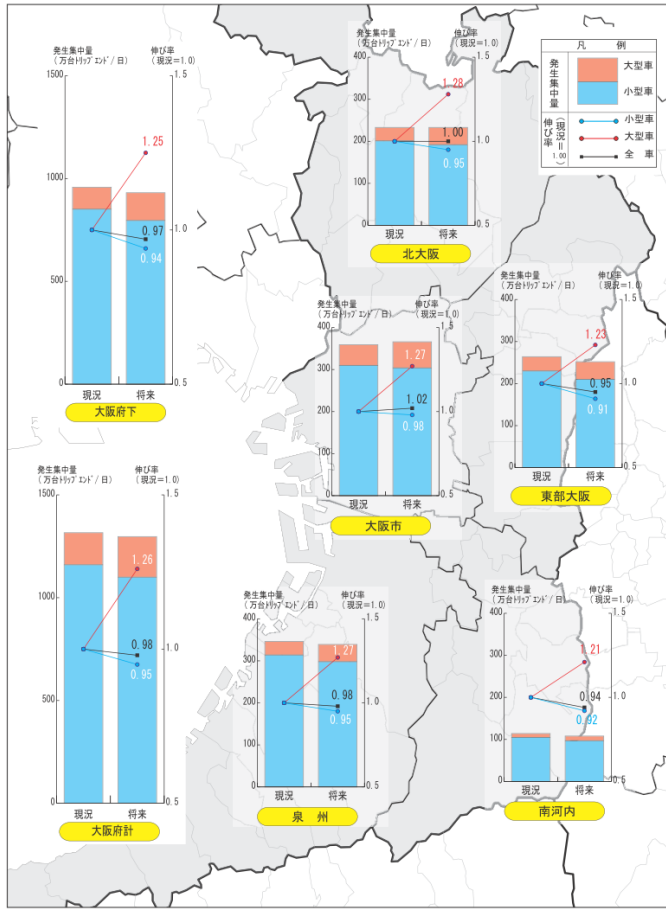


詳しくは、

URL: <http://www.pref.osaka.jp/toshikotsu/kinki-pt/index.html>

将来交通量の特徴 (国の動きに合わせた府実施結果)

大阪府関連 OD 交通量について (H17-H42 の傾向)



府県別自動車発生集中量と人口の伸び率

※自動車発生集中量の伸び率は H17 ヲガ→H42

